

## 2020年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年6月7日

上場会社名 ベステラ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1433 URL <https://www.besterra.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 佳秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 本田 豊 TEL 03-3630-5555  
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年1月期第1四半期の連結業績 (2019年2月1日～2019年4月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第1四半期	1,114	5.9	130	79.7	130	76.6	86	86.0
2019年1月期第1四半期	1,052	-	72	-	74	-	46	-

(注) 包括利益 2020年1月期第1四半期 86百万円 (87.6%) 2019年1月期第1四半期 46百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第1四半期	10.49	-
2019年1月期第1四半期	5.56	5.55

(注) 当社は、2019年1月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、2020年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第1四半期	3,400	2,619	77.0
2019年1月期	4,564	2,614	57.2

(参考) 自己資本 2020年1月期第1四半期 2,616百万円 2019年1月期 2,611百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	-	5.00	-	10.00	15.00
2020年1月期	-	-	-	-	-
2020年1月期 (予想)	-	6.00	-	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年1月期の連結業績予想 (2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	15.7	525	5.5	521	5.2	367	△41.0	44.61

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、第2四半期 (累計) の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期1Q	8,355,600株	2019年1月期	8,355,600株
② 期末自己株式数	2020年1月期1Q	128,830株	2019年1月期	128,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期1Q	8,226,770株	2019年1月期1Q	8,351,008株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続く中、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦による経済成長の減速懸念や金融資本市場の変動の影響等の世界経済への影響が懸念されております。

当社グループの属する建設業界におきましては、建設投資額は増加傾向で中期的にも堅調とみられますが、全産業的な人手不足による労務単価の上昇、建築資材の値上がりは今期も続いており、楽観は許されない状況であります。プラント解体分野におきましては、高度経済成長期に建設された設備の解体、生産性向上のための装置入替、生産拠点や生産体制の見直しなどの目的で高い投資意欲が続き、解体工事案件の増加が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、工事進行基準対象工事の施工が順調に推移した結果、売上高は1,114,314千円(前年同四半期比5.9%増)となりました。また、利益面におきましても、個別案件ごとの採算性の確保、販売費及び一般管理費の抑制等の取組みを継続して行った結果、営業利益は130,943千円(同79.7%増)、経常利益は130,844千円(同76.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は86,276千円(同86.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## プラント解体事業

プラント解体事業は、堅調なプラント解体工事需要に支えられ、また新規顧客の開拓などの積極的な営業の成果により、完成工事高は1,062,089千円(同3.7%増)となりました。

## その他

その他は、人材サービス事業で構成されておりますが、前年同四半期より株式会社ヒロ・エンジニアリングを子会社化したことにより、兼業事業売上高は52,225千円(同83.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,400,101千円となり、前連結会計年度末に比べ1,164,323千円の減少となりました。これは主に有価証券が200,088千円増加、預け金等のその他流動資産が305,462千円増加した一方、現金預金1,271,200千円、受取手形・完成工事未収入金等が349,316千円減少したこと等が要因であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は780,665千円となり、前連結会計年度末に比べ1,169,051千円の減少となりました。これは主に工事未払金等が852,287千円減少、未払法人税等が247,579千円減少したこと等が要因であります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は2,619,436千円となり、前連結会計年度末に比べ4,727千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が4,008千円増加したこと等が要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年3月15日付で公表しました当期の連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,032,042	760,841
受取手形・完成工事未収入金等	1,785,489	1,436,173
有価証券	—	200,088
未成工事支出金	198,023	172,804
その他	46,083	351,545
貸倒引当金	△1,869	△1,532
流動資産合計	4,059,769	2,919,921
固定資産		
有形固定資産	265,406	284,038
無形固定資産		
のれん	19,998	18,798
その他	6,849	8,143
無形固定資産合計	26,847	26,941
投資その他の資産		
投資有価証券	108,180	108,780
その他	105,401	61,599
貸倒引当金	△1,180	△1,180
投資その他の資産合計	212,401	169,199
固定資産合計	504,654	480,179
資産合計	4,564,424	3,400,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,357,010	504,723
未払法人税等	250,525	2,945
工事損失引当金	11,000	1,348
株主優待引当金	10,000	—
その他	264,558	214,269
流動負債合計	1,893,093	723,286
固定負債		
長期借入金	7,826	7,040
退職給付に係る負債	43,534	45,076
その他	5,262	5,262
固定負債合計	56,622	57,378
負債合計	1,949,716	780,665
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	417,178	417,178
資本剰余金	378,148	378,148
利益剰余金	2,033,765	2,037,774
自己株式	△200,124	△200,124
株主資本合計	2,628,967	2,632,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,063	△16,471
その他の包括利益累計額合計	△17,063	△16,471
新株予約権	1,222	1,222
非支配株主持分	1,582	1,709
純資産合計	2,614,708	2,619,436
負債純資産合計	4,564,424	3,400,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)
売上高		
完成工事高	1,023,916	1,062,089
兼業事業売上高	28,419	52,225
売上高合計	1,052,335	1,114,314
売上原価		
完成工事原価	833,514	805,910
兼業事業売上原価	21,699	40,783
売上原価合計	855,214	846,693
売上総利益		
完成工事総利益	190,401	256,178
兼業事業総利益	6,719	11,441
売上総利益合計	197,120	267,620
販売費及び一般管理費	124,238	136,677
営業利益	72,882	130,943
営業外収益		
不動産賃貸料	2,473	7,685
その他	939	1,072
営業外収益合計	3,412	8,758
営業外費用		
支払利息	297	33
支払手数料	1,138	1,092
不動産賃貸費用	749	7,685
その他	12	44
営業外費用合計	2,197	8,856
経常利益	74,097	130,844
税金等調整前四半期純利益	74,097	130,844
法人税、住民税及び事業税	1,756	364
法人税等調整額	25,957	44,077
法人税等合計	27,713	44,441
四半期純利益	46,384	86,403
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	126
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,390	86,276

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)
四半期純利益	46,384	86,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	592
その他の包括利益合計	—	592
四半期包括利益	46,384	86,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,390	86,868
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年2月1日至2018年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	プラント解体 事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,023,916	1,023,916	28,419	1,052,335
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—
計	1,023,916	1,023,916	28,419	1,052,335
セグメント利益	190,401	190,401	6,719	197,120

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービスを含んでおります。

2 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	190,401
「その他」の区分の利益	6,719
販売費及び一般管理費	△124,238
四半期連結損益計算書の営業利益	72,882

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	プラント解体 事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,062,089	1,062,089	52,225	1,114,314
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—
計	1,062,089	1,062,089	52,225	1,114,314
セグメント利益	256,178	256,178	11,441	267,620

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービスを含んでおります。

2 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,178
「その他」の区分の利益	11,441
販売費及び一般管理費	△136,677
四半期連結損益計算書の営業利益	130,943

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

項 目	前第1四半期累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	対前年同期	
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)
前期繰越工事高	2,218,289	1,021,656	△1,196,632	△53.9
当期受注工事高	485,479	1,046,891	561,412	115.6
当期完成工事高	1,023,916	1,062,089	38,172	3.7
次期繰越工事高	1,679,852	1,006,459	△673,393	△40.1

(注) 1 当期受注工事高には有価物売却予想額を含んでおります。

2 前事業年度以前に受注したもので、契約の変更による請負金額の増減および有価物の売却価格の変動等による増減があったものについては、その増減額は変更のあった期の受注工事高に含んでおります。

3 上記の金額には消費税等は含まれておりません。